



学校レポーター's コラム

「南麓祭を終えて」

川根高等学校 3年 榎田梨乃



6月7日から2日間にわたった南麓祭文化の部は、本当にあっという間に終わってしまいました。

今年とは違い、テーマを社会問題に関するものにしよと、私たち本部役員は前年度から準備を進めてきました。

テーマは「青い空を永遠に〜 enjoy ECO life〜」という、環境

問題を来場者に訴えかけるものに決定しました。私たち本部役員にとっても、もちろん全校生徒にとっても初めての挑戦でした。いつもは、自分たちが楽しめる文化祭をつくっていたので、

どんな風に環境問題を訴えようか、全校生徒が試行錯誤しました。正直最初は、「自分たちの文化祭なんだから、もっと自由なテーマがいい」と思っていました。多くの生徒が同じような思いだったのではないのでしょうか。

各団体から提出される企画書は、どうにかテーマに関連させようとした努力が見られました。それでも具体性に欠けていたり、中途半端だったり、先行きが不安なものばかりでした。

「やはり全員が南麓祭に向けて本気になっていない。テーマが難しかったんだろうか」と不安になりました。本部役員として、全校生徒を本気にさせることができずにいることに焦りました。昼休みや放課後などの時間を使

って、本番までの期間を盛り上げ、南麓祭一色になるような工夫を考え、準備しました。先生からのアドバイスのおかげもあり、徐々に生徒たちに火がついていくのが分かりました。毎日遅くまで学校に残って準備をしていくうちに、ようやく「南麓祭」の形が見えてきました。

南麓祭文化の部1日目は、校内でのステージ発表でした。各団体の工夫を凝らしたステージに、体育館は揺れるように盛り上がりました。吹奏楽の演奏からスタートし、有志バンドの演奏のときには、例年になくいろいろな全校が盛り上がったような気がしました。最後の郷土芸能部による演奏は、力強く迫力があり、心に響くものがありました。会場にいた全員が見とれてしまっていたと思います。

そして2日目、一般公開の日です。どの展示団体も、本当によく工夫されていて驚きました。来場者の皆さんを見ても、川高生を見ても、みんな笑顔で楽しそうでした。私は「南麓祭は大成功したんだ」と実感しました。

今日まで頑張ってきて良かったと思います。川高生の多くがそう思ったのではないのでしょうか。ただ、その大成功の裏で、一生懸命頑張ってくれていた人がいたことを忘れてはいけません。当日はHR展示などに行け

ず、本部や受付などで仕事をしていた人、審査のために学校中を一日走り回った人、放送委員で時間を常に気にしていた人もいました。そして何より、南麓祭2日目をパソコンと過ごした人がいました。2日間にわたった南麓祭の映像を編集し、DVDにするためです。一日中机に張りつき、時間に追われながら作業している姿に私は感動しました。その他にも、各団体が多くの人に助けられたのではないのでしょうか。そういった人たちに感謝できて、本当に成功したといえると思います。

当日までは色々なトラブルがありました。南麓祭前日まで頭を抱えていた企画もありました。それでも大成功で終えることができました。初めての挑戦としては、予想以上のできだったと思います。来年は、もっともつとレベルアップした南麓祭になることを期待しています。

今年の南麓祭は、初めての挑戦という意味でも、私たち3年生にとって最後の南麓祭という意味でも特別なものになりました。これから私たち3年生は頭を切り換えて、勉強に専念します。南麓祭を成功させられた私たちなら、受験も乗り越えられます！なんてそう甘くはないかもしれませんが…。

今月の裏表紙写真は川根高校「南麓祭文化の部」の写真です